

2021年12月22日

各位

一般社団法人 全国専門学校教育研究会
校 運 営 部 会 座 長 成底 敏
教育質向上委員会 委員長 芦澤 昌彦
教育質向上委員会 副委員長 八木 信幸

アセスメントと評価活動

－学習者の学修成果を適切に評価するために－

中堅教員向け研修のご案内

拝啓、時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、全専研・教育質向上委員会では、「アセスメントと評価活動－学習者の学修成果を適切に評価するために－」研修を企画いたしましたので、ご案内申し上げます。

学校教育にとって、学修成果を評価する活動（アセスメント）はとても重要です。「学修成果の評価が重要である」ということに対して異論はないかと思うのですが、一方で、「学修成果の評価が適切に行えているか」を問われると答えに窮する場面も少なくないかと思えます。

令和2年4月から始まった「高等教育の修学支援新制度」においても、「支援を受けた学生が大学等でしっかりと学んだ上で、社会で自立し活躍できるように、学問追求と実践的教育のバランスの取れた質の高い教育を実施する大学等を対象機関とするための要件を設定」しており、その要件の一つとして、「3. 授業計画書（シラバス）の作成、GPAなどの成績評価の客観的指標の設定、卒業の認定に関する方針の策定などにより、厳格かつ適正な成績管理を実施・公表していること。」という形で学修成果の適切な評価が求められています。

そこで、本研修では、学生の学修成果を適切に評価（アセスメント）できているかを見直し、他の教職員に説明することができるようになることを目指し、学修成果の評価に関する基本的な考え方や関連する知識・技術を理解していただくとともに、グループワークなどを通じて、実際の業務に役立つテスト問題づくりのヒントを提供したいと思います。

教育の質を向上させるには、学習者の学修成果を適切にアセスメントすることと、それらの情報を含めて教育活動を適切に評価することが必須となります。今求められている情報公開にも役立つ、実践的な評価手法を体系的に学べる機会になると思いますので、各分野・各教科のカリキュラム開発や教材開発を主導なされているリーダーをはじめ、お一人でも多くの先生方に受講していただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

敬具

アセスメントと評価活動－学習者の学修成果を適切に評価するために－

中堅教員向け研修

1. 眼 目

- 評価にはどのような評価があるのか、評価対象と評価の方法、そして評価の使い方に関して解説します。
- 近年示された ISO29992 のアセスメント・ガイドラインに沿って、アセスメントテストの作り方を説明し、演習も行います。
- 社会で受け入れられる学生の評価として近年脚光を浴びてきている非認知能力の測定に関して説明します。
- 公平で指標になるアセスメントというだけでなく、戦略的な側面に関しても説明します

2. 開催日程 2022年1月24日（月）9：00～18：00

3. 受 付 8：50～アクセス受付開始
(Zoom を活用したオンラインセミナーとなります。)

4. 定 員 30名

5. 講 師

■吉川 厚（ヨシカワ アツシ）

◆略歴

1991年 慶應義塾大学 理工学研究科 計測工学専攻 博士課程 修了（工学博士）
1991年 日本電信電話株式会社 ソフトウェア研究所 入社
1992年 同 基礎研究所 主任研究員
1998年 同 コミュニケーション科学基礎研究所 部長補佐
1998年－2000年 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学科 連携准教授
2000年 (株)NTT データ 技術開発本部 課長
2002年 同 ビジネスインキュベーションセンター 教育ビジネスユニット ビジネスユニット長
2004年－現在 東京工業大学 特定教授
2006年 (株)教育測定研究所 主席研究員
2012年－現在 早稲田大学 招聘研究員
2013－2017年 (一財)日本生涯学習総合研究所 理事長
2017年－現在 (株)EduLab 主席研究員
2017年－現在 (一財)日本生涯学習総合研究所 客員研究員
2020年－現在 立教大学大学院 人工知能科学研究科 特任教授

■八木 信幸（ヤギ ノブユキ）

◆略歴

1991年 山梨大学 教育学部 総合科学課程 卒業
1997年 筑波大学大学院 博士課程地球科学研究科 修了 博士（理学）
1997年 サワソフトサイエンス株式会社 建設コンサルタント
1999年 学校法人中央工学校 専門学校中央工学校 土木工学科 専任教員
2002年 学校法人中央工学校 アクト情報ビジネス専門学校 生涯学習室室長代理
2004年 学校法人有坂中央学園 経営企画本部 教育開発研究所 主任研究員
2010年 全国専修学校各種学校総連合会 調査役（JAMOTE 事務局を兼務）
2013年－現在 JAMOTE 認証サービス株式会社 代表取締役社長（兼務）
2016年 学校法人中央総合学園 中央医療歯科専門学校高崎校 副校長
2016年－現在 国立大学法人九州大学 客員教授（兼務）
2018年－現在 学校法人有坂中央学園 経営企画本部 教育開発研究所 上席研究員（兼務）

6. 受講前提

専門学校で教員経験があり、試験問題の作成や学生の成績評価を担当したことがある方（分野・科目は特段問わない）。

7. 持参物および事前準備

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、オンラインセミナーとして実施します。

Web 会議システムとして Zoom を用いますので、インターネットへ接続可能なノートパソコン、Web カメラなどの映像機器、ヘッドホン及びマイクなどの音声機器をご準備ください。特に、研修中は受講者相互でのグループワークなども予定しておりますし、受講者の皆様の様子を視認させていただく必要もございますので、ご自身の Web カメラを On にした状態で接続を維持できるよう回線速度にもご注意ください。

また、試験問題作成を行い、その成果をファイル共有により実施していただきますので、PowerPoint 等のプレゼンツールをインストールしておいてください。また、試験問題をつくりませんが、そのとき自分の得意な分野で試験を作りたい場合には、必要なドキュメントをあらかじめ準備しておいてください。

8. 会 場 オンラインセミナー（Zoom を使用）

当日アクセスいただくミーティング ID とパスコードは、受講票に記載予定

9. 参加料

全専研加盟校の方 13,000 円(教材費を含む)

全専研非加盟校の方 21,000 円(教材費を含む)

研修会当日までに以下の振込先へお振り込み下さい。

領収書は別途メール PDF にて送付させていただきます。

【振込先】

北陸銀行 小杉支店 普通口座

口座番号：6040565 （店番号：214）

シヤ) ゼンコクセンモンガツコウキョウイクケンキョウカイ

口座名義：一般社団法人全国専門学校教育研究会

【振込期限】

2022 年 1 月 21 日（金曜日） 17:00 まで

10. 申込期限 2022 年 1 月 17 日（月曜日） 17:00 まで

***申込時に“差し支えない”方は、例題に使用してよい問題を提出ください**

11. 注意事項 応募者多数となった場合、期限前に申込を締め切らせていただく場合がございます。 その場合は、お申込み先着順と致しますのでご了承下さい。

アセスメントと評価活動

ー学習者の学修成果を適切に評価するためにー

研修の日程

2022年1月24日（月）

時間	概要	詳細内容
8：40～9：00	受 付	
9：00～9：05 (5 分)	開会挨拶 研修スケジュールの案内	
9：05～10：35 (90 分)	・アセスメントの考え方 ・IS029992 の詳説 (担当 吉川)	IS029992 のアセスメントガイドラインをベースに、アセスメントでガイドラインが作られた考え方から、アセスメントに必要な要素を学びます
10：35～10：45 (10 分)	休憩	
10：45～12：45 (120 分)	・アセスメント・テスト作成実習 (担当 吉川・八木)	グループワークで、試験問題を作成します。主催者側で試験問題作成のための資料も提示しますが、持参された方はグループ内で討議して、その分野にするか決めてください。単問の作成からテストセットの作成まで行います。
12：45～13：35 (50 分)	休憩（昼休み）	
13：35～14：20 (45 分)	・作成したテストの発表 ・テスト結果の分析 ・テストの改善の方法 (担当 吉川)	各グループで作成したテストを発表して、全体で討議します。 また、テスト結果が戻ってきたことを想定して、そのテスト結果の分析の仕方や、テスト問題の改善の仕方を学びます。
14：20～14：30 (10 分)	休憩	
14：30～16：00 (90 分)	・非認知能力等他の評価の概要 ・様々な評価手法の全体象 (担当 吉川)	評価の様々な観点を学び、評価の全体像をつかみます。そのうえで、話題になってきている非認知能力に関して、測定手法を学びます。
16：00～16：10 (10 分)	休憩	
16:10～17:20 (70 分)	・評価を戦略的に使う考え方 ・多面的評価 ・評価に関する意見交換 (担当 吉川)	ここは話題提供として、生徒などの受講者を評価するためのアセスメントだけではなく、戦略的にアセスメントをどのように使うのかや、評価の持つ1面性から多面的に評価する方法などをあげ、評価に関して意見交換を行い、本研修の内容をまとめる。
17：20～17：30	閉会挨拶 アンケート	

全国専門学校教育研究会

アセスメントと評価活動
ー学習者の学修成果を適切に評価するためにー

中堅教員向け研修

参加申込書

法人名 _____

学校名 _____

TEL _____

記入者名 _____

※フリガナ 参加者氏名	所属する学校・学科名 (正式名称)

お申込み方法はメールでお願いいたします。

申込期限 2022年 1月 17日(月曜日) 17:00まで
お申込みのメール送付先

e-mail: yagi.nobuyuki@chuo.ac.jp

有坂中央学園 本部 八木 信幸

※受信後、確認のため受理した旨のメールを返信いたしますのでご安心ください。

※複数のお申込みの場合は、メールを頂いた方を代表と考え、代表の方へのみお返事いたします。

講座の内容等に関するお問い合わせ先

有坂中央学園 本部 TEL027-256-7000 八木までお願いいたします。

メールでのご質問も受け付けいたします。